

「熊本を支える地元団体向け復興経験と知見をつなげる助成&研修事業」スケジュール



2017年2月-3月

日程	時間	テーマ	講座概略	講師
1	2月17日 金 1000-1100	オープニングトーク「復興」とは何か	立場やセクターに関わらず、「広義の復興支援」に携わるなかで“ふと”考える素朴な疑問は「復興とは何か?」ということではないでしょうか。復興にゴールや条件があるのか?いつ復興期間が終わるのか?終わるのか?行政の視点、民間支援団体の視点、町内会の視点、被災した住民個人の視点等があるとすれば、それぞれに交錯する考え・想いは多彩であるようです。この講座では1995年の震災から22年を迎えた神戸の経験から考えます。	野崎隆一・菅野拓・田村太郎
2	2月17日 金 1100-1230	復興を支える財源と法制度	復興に、我が団体に、この事業に、一体どれだけの予算が必要なのか、大きな悩みがこの資金や財源のテーマではないでしょうか。近年の自然災害においても、基金を造成するケースもあれば、民間の財源を大きく頼る時期があったり、行政の既存の制度の活用が可能であったり、様々な視点があります。行政のお立場のみならず、民間の立場でも、復興を現場で進めていくためにどのような法制度や財源があるのかの整理を試みます。	菅野拓
3	2月17日 金 1330-1500	復興まちづくりと合意形成	復興は土木工事や建築ということも重要な側面ではありますが、実は復興は多くの会議を開き、そこで合意形成をはかることと言えます。住民を主人公に、住民自身がどのような暮らしを再興するのかの会議が多く開かれます。住民対行政、住民同士の対立関係になりがちな部分をどのようにほぐして、必要なことを決めていく関わりをしていくのか整理します。	野崎隆一
4	2月17日 金 1530-1700	復興支援の全体像	「復興支援」という言葉をよく見聞きするものの、実際の線引きはセクターによって、個人によっても異なることも多いと思います。自然災害によって直接的な被害や影響があった地域・課題もあれば、元々その地域にあった課題もあり、線引きが難しいものです。また、行政や民間がそれぞれに取り組む復興支援事業、分野や支援活動を行う場所も異なるなかで、この講座では、全体像を浮かび上がらせることを試みます。	田村太郎
5	2月18日 土 1000-1130	被災者のいきがい・しごとづくり	地震などの災害発生後、当面は日々の生活や住居の確保に日々の多くの時間をさくことになると思います。仮設住宅に入居後も、住居の再建や元々の住居があった地区の話し合い等が続くこともありますが、特に高齢の仮設入居者を中心に「いきがい」を喪失するかのよう感覚になることがあります。また、週5日のフルタイムの仕事がしたくても出来ない方むけに、自宅や一日の可能な時間を仕事に充てることで月3-5万円程度の収入を可能にする「しごとづくり」が大事といわれます。この講義では、いきがいとしごとづくりを一体的に、過去の復興における事例とあわせて、考え方や様々な可能性等を整理します。	中村順子
6	2月18日 土 1300-1430	復興における中間支援組織の役割	復興は様々な取り組みや活動の積み重ねで時にゆっくりと、時に勢いをもって進んでいくものです。官民の様々な立場で、様々な復興にむけた取り組みを行うのですが、民間の活動の下支えをしたり、情報交換のようにつなぐ場をつくらせたり、中立的な立場を活かした仲介や意見交換の場づくりだったり、以外と多様な活動が役立つことがあります。この講義では、中間支援組織といわれる、現場をもたず、様々な活動を行う人と組織をつなぎ、支援するための組織に求められる役割と必要性等について整理します。	石塚直樹
7	2月20日 月 1030-1200	仮設住宅でのコミュニティ形成支援	建物は仮設でも、人々の人生は仮設ではありません。仮設住宅での暮らしを充実した人生の期間として過ごすために、そこで暮らす人々の生活をどう支えればいいのか。地域や背景も様々な住民の主体性を尊重しながら、コミュニティを形成していくうえでのポイントを学びます。	遠藤崇広
8	2月28日 火 1030-1200	女性・子育て世代の課題と支援	復興の過程において、子育て世代の女性に焦点をあてた支援に関する課題を整理します。平時でも負担の多い子育て、それが大規模自然災害の発生後、どのようなことが負担で、どのような支援が必要なのか。ご自身の被災経験を含めて、お話頂きます。	小川ゆみ
9	2月28日 火 1030-1200	会議のファシリテーション	ファシリテーションとは、会議の進行役であり、会議の円滑かつ参加者の一人ひとりの意見や関与を引き出す技術や考え方を指しています。この講座では、ファシリテーションを学ぶ入口として、基礎の部分と復興の場面でどのように役立つのかを整理します。	三浦まり江
10	2月28日 火 1030-1200	大学生だからできる復興支援～在学中と卒業後の	多くの在学中の大学生が復旧・復興支援活動に取組み、大きな力になりました。他方で、学業とのバランスや卒業後の進路の関係で、地域の復興との関わりに悩むことも少なくないと思います。1995年の阪神淡路大震災の復興支援に関わり、現在は大学生のボランティア支援をする講師より、在学中・卒業後の地域と復興の関わりについて整理します。	赤澤清孝
11	2月28日 火 1300-1430	ファンドレイジングの基礎	お金そのものには意志はありません。お金を出す人の気持ちが動いて初めて、お金は動きまわります。資金を集めるためには、人の気持ちを集める必要があります。復興に必要な財源をどのように構成し、どのように調達するのか、基本的な考え方と具体的な手法を学びます。	河合将生
12	2月28日 火 1300-1430	まちづくりへの参加のデザイン	地域の未来を創るのは住民です。住民が自ら参加し、新しいまちでの暮らし方やまちなみのデザインを考え、行政や専門家の力を引き出しながら、まちづくりを進めていく方法について、神戸や東北の事例も参考にしながら学びます。	浅見雅之
13	2月28日 火 1500-1630	コミュニティにおけるファンドレイジング	コミュニティに必要な活動をどのような資金でまかなうのか。コミュニティの思いを大切にしながら、支援者の共感を得て資金を獲得するために、資金の種類や特徴、適切な資金の調達方法を学びます。	河合将生
14	2月28日 火 1500-1630	連携と協働で支える地域づくり	復興にはさまざまな分野の、さまざまな組織の力が必要になります。県・市・地区それぞれの地域づくりを支える多様な組織の構造や、組織間の連携・協働のあり方について、東北での事例を元に学びます。	鹿野順一
15	2月28日 火 1900-2030	メモリアル事業の事例と考え方	震災の経験をどのように未来に伝えるのか。被災者、支援者それぞれの思いを大切にしながら、多様な担い手が協働しながら20年以上、継続してメモリアル事業を展開している神戸の事例を学び、これからのメモリアル事業のあり方を考えます。	森田拓也
16	3月24日 水 1000-1130	保健福祉分野から見た被災者支援	被災者への心のケアを中心に、保健福祉分野での課題や対応について、過去の事例などを元に時系列で整理するとともに、行政職員や支援者のメンタルヘルスについても、課題や留意すべき点を学びます。	原田奈穂子
17	3月1日 水 1300-1430	課題と目標の立て方	事業を組み立てるうえで重要な対象とすべき課題の絞り方と目標の立て方について、当事者の合意と支援者の共感を両立させる復興事業の視点から、基本的な考え方や留意点について学びます。	山崎庸貴
18	3月1日 水 1500-1630	国際基準でみえてくる支援現場の課題		松尾沢子
19	3月1日 水 1900-2030	復興まちづくりのケーススタディ	復興まちづくりはどのような手順で進められ、誰がどのような役割を担うのか。意志決定や財源はどのようにしたのか。神戸市長田区で震災から5ヶ月後に発足したまちづくり協議会で20年以上、会長を務めてこられた野村さんから体験談を伺います。	野村勝
20	3月3日 金 1030-1200	復興とともに生きる子ども・若者への支援	学校が避難所となり、公園やグラウンドには仮設住宅が並び、家庭の状況が変わって進路変更を余儀なくされる。子どもや若者の環境は、災害時に大きな影響を受けます。石巻で子どもや若者を対象に活動してきた視点からお話を伺います。	門馬優
21	3月3日 金 1030-1200	成果の表現と広報の技術	行政・民間に関わらず、復興支援活動に日々取り組む中で、参加者募集としての告知はしているものの、誰向けに、どのような方法で、どのようなことを重視して発信していけばいいのでしょうか。ホームページを作るだけではもはや伝わらないといわれるなかで、独りよがりな一方的な発信にならないための視点の置き方、誰に何を伝えるべきなのかを整理します。	船木成記
22	3月3日 金 1030-1200	地域の産業の再生と仕事の創出	被災した地域において、震災前の産業の再生・再興と共に、新たな・小さな仕事づくりが求められるケースがあります。地元の人、外部の人のそれぞれを活用しながら、生計支援的な月数万円以下の収入から、新規の起業・創業まで多彩な事例をもとに考え方を整理します。	松村豪太
23	3月3日 金 1300-1430	補講・総論①	復興とは何か、復興を支える財源や制度、復興まちづくりと合意形成、復興支援の全体像をテーマに、復興支援を巡る総論を整理します。(第1~4講の内容をダイジェストで紹介しします)	田村太郎
24	3月3日 金 1500-1630	補講・総論②	復興とは何か、復興を支える財源や制度、復興まちづくりと合意形成、復興支援の全体像をテーマに、復興支援を巡る総論を整理します。(第1~4講の内容をダイジェストで紹介しします)	田村太郎
25	3月10日 金 1030-1200	対人援助の基礎	人を対象に支援を行ううえで必要な考え方やスキルについて、ケースワークの基礎や対人援助技法の基礎を理解し、復興支援における留意点や活動へ活かすうえでのポイントを解説します。	田村太郎
26	3月10日 金 1900-2030	人材マネジメントの基礎	組織運営で最も重要なのは人です。組織編成から募集、選考、評価まで、人材マネジメントの手順や留意点を学び、これからの復興支援活動における人材について、基礎的な視点と考え方を整理します。	田村太郎